

認定 NPO 法人 横浜移動サービス協議会
令和 5 年(2023)度 R5.10.1~R6.9.30
事業報告書



定款項目対比表

定款項目	部門	事業	事業名	頁
(1) 移動に関する情報提供・相談に関する事業	自主事業	相談	①相談室 ②お出かけ便利帳	4
(2) 要支援者の介護予防・日常生活支援総合事業、その他高齢者等に対するサービスに関する事業	制度活用	移動支援	①福祉有償運送「さぼーと・横浜」	5
	制度活用	自律支援	②横浜市介護予防・生活支援サービス補助事業サービスB「アペリティーヴォ」	6
	自主事業	ユニバーサル移動	③ユニバーサル移動 ア. ユニバーサルツアー推進(含 お出かけ事業) イ. 移動支援ファンドの構築と試行 ウ. 介護タクシー配車サービス	7) 9
(3) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス、地域生活支援、及び児童福祉法に基づく障害児通所支援、その他障害者等に対するサービスに関する事業	制度活用	移動支援	①さぼーと・横浜(再掲)	9
	制度活用	移動支援	②ガイドヘルパー(障害者移動支援)	9~10
	自主事業	ユニバーサル移動	③ユニバーサル移動 アユニバーサルツアー推進(含 お出かけ事業)(再掲) イ. 移動支援ファンドの構築と試行(再掲) ウ. 介護タクシー配車サービス(再掲)	10
	制度活用	自律支援	④就労継続支援B型事業(IKIKIカンパニー)	10~11
	制度活用	その他	⑤入院時コミュニケーション事業	11
(4) 市民活動団体・個人の支援に関する事業	自主事業	人材育成	①国土交通省認定講習	11~12
	自主事業	人材育成	②ガイドヘルパー・同行援護従業者養成研修 ア. ガイドヘルパー研修 イ. 同行援護従業者養成研修	12) 13
	制度活用	移動支援 人材育成	③横浜市障害者ガイドボランティア事業事務取扱 ア. 横浜市障害者 イ. 横浜市障害者ガイドボランティア研修	13) 15
	制度活用	その他	④横浜市重度障害者福祉タクシー利用券換金業務代行	15~16
	交流&ネットワーク 構築・拡大	ネットワーク 拡大	⑤団体活動支援 ⑥団体連携	17
(5) 高齢者及び障害を持つ人等が利用しやすい交通システム・まちづくりの学習・検討・提言に関する事業	交流&ネットワーク 構築・拡大	ネットワーク 拡大	①学習会、交流サロン、シンポジウム等の開催 ②要支援者を交えた防災・減災のための取り組み	17) 18
(6) 公共交通機関・医療機関・福祉機関・行政・社会福祉協議会、福祉活動団体などとの連携・協働に関する事業	交流&ネットワーク 構築・拡大	ネットワーク 拡大	①横浜市等関係部局との連携	18
				19
(7) その他この法人の目的を達成するために必要な事業	総務	その他	①よこはま市民共同オフィスの運営・管理	19) 20

1 事業概況

当会、認定 N P O 法人横浜移動サービス協議会は、平成 12(2000)年に市民セクターよこはまから独立し、平成 16(2014)年 11 月 22 日に、道路運送法改定の時に法人登記した。

丁度 20 年の節目となる今年、毎日社会福祉顕彰の受賞候補として選ばれ、10 月 31 日に賞と賞金 100 万円を贈呈いただけることになった。

横浜市社会福祉協議会障害者支援センター様よりご推薦頂き、神奈川県や横浜市、地元企業と連携し、高齢者・障害者の支援、人材育成、情報発信などに取り組み、「ユニバーサルツーリズム」の実現に向けて取り組んでいることを評価いただいた。移動支援だけでなく、商業施設など人が多く集まる場所でのバリアフリー調査や店舗スタッフの福祉研修の他、高齢者や障害者が家から出かけるきっかけとなる楽しいイベントや、仲間が集まることができる居場所の提供などにも注目して頂き、地域の暮らしを支えるボランティア活動のモデルケースととらえていただいたことは、私たちの地道な活動が、他者から、このように評価して頂いたことに感極まりない。

法人決算では、赤字をさらに広げてしまった。主な原因は、2022 年 1 月に立ち上げた就労継続支援 B 型事業 IKIIKI カンパニー、コロナ禍の影響とドライバーの高齢化等の事情による福祉有償運送さぼりと・横浜の不振となっている。

しかしながら、IKIIKI カンパニーは、立ち上がりは遅れたが、3 年間で黒字転換の計画どおり、単年度赤字を半減することができた。さぼりと・横浜においては、時代のニーズと現状を鑑み、法人車両を手放し、固定費の削減に努め、今期後半には、赤字解消となっていることを報告したい。

団体運営は困難を極めているが、外出に困難を抱える人たちの現状の課題解決のための事業の一部は収益を上げている。特に、人材育成のためのガイドヘルパー養成研修は、知的・身体・視覚障害すべてを受講するケースが増えている。受講者の中から当会への登録を促し、移動支援事業も伸びている。

また、業績悪化に対する事業再構築補助金の補助金交付候補者として採択されており、10 月より移動困難者の課題解決のために、IT システムの導入による介護タクシーのマッチングアプリの開発に取り組み、収益向上を目指している。

ドライバーの高齢化、定年年齢の上昇や年金の減少など、ボランティア活動による福祉有償運送が縮小する一方、利用ニーズは上昇し、利用者の重篤化も進んでいるため、当会で取り組む福祉タクシー券換金協定事業者と連携し、効率的かつ多様な利用ニーズに応えた配車コーディネートを展開する。

65 歳以上の高齢者人口の増加は顕著であり、障害者数も増加の傾向が推定されている。

福祉有償運送は、平成 16(2014)年に、道路運送法が改正されたが、その継続には課題が山積しており、横浜市の高齢者福祉サービスの一環として平成 14 年から実施されていた外出支援サービスは、令和 5 年 3 月をもって、18 区社会福祉協議会すべてが福祉有償運送の登録を更新していない。暫定的に社会福祉協議会既利用者のみ、タクシーによる代替サービスを提供しているが、乗車距離に応じて、おおよそタクシー料金の半額以下で、介助料等の徴収がなく、一番安価な移動サービスが終了したことになり、福祉有償運送の限界が見えてきていることを表している。

「いつでも、誰でも、どこへでも～」⇒「移動の先に待っていることがある♪」

外出することで、日常生活に新たな刺激が加わり、生活の質が向上し、活力が湧き、生き生きとした毎日を過ごせるようになるであろうことは、不変であり、事務局スタッフの中では、「サービス B、就労 B を超える！ 目指せ ULTRA C！」を合言葉に、様々な新しい取り組みに挑戦している。

2 各事業報告

(1) 移動に関する情報提供・相談に関する事業

① 相談室

【事業内容】

平成14年全国社会福祉協議会の「インフォーマル協働研究」モデル事業で”断らないで済むシステムづくり”を目指して、「よこはま移動サービスセンター」を開設しその後、平成18年、19年に、横浜市協働提案モデル事業で、高齢在宅支援課との協働で「お出かけ相談室」が始まった。

【活動実績】

だれもが使用できる「相談資料ファイル」を整備して以降、内容の改変や新しく始めた事業内容をタイムリーに追加して、電話対応の強化を図った。

【所感】

IT 活用による効率化が全盛の中、電話を用いることによる臨機応変な対応が可能な相談室機能を今後とも設けていく。

【今後の展望】

電話対応以外に、IT 活用も含めて、横浜市障害者タクシー利用券の換金業務締結の介護タクシーやガイドヘルパー研修受講者などとの連携も目指していく。

- ・事業開始:令和14年4月
- ・従事者人員:服部、山野上、鈴木、江口
- ・活動日時:平日、10:00~17:00 及び緊急連絡先による対応
- ・活動場所:事業所
- ・関係機関等:福祉タクシー券換金事業者、移動支援事業者連絡会、移動情報センター他
- ・受益対象者:障害者、高齢者等移動困難者
- ・支出額:0円

② お出かけ便利帳

【事業内容】

高齢や障がいのために外出をあきらめている人たちに、ちょっとした手助けのための情報提供をするためのものである。

【活動実績】

平成18年度版発行が最後で、改定版発行には至らなかった。

【所感】

横浜市のホームページに、「福祉有償運送実施団体」が掲載されているが、その情報が不十分なため、実際に利用したい情報を集めているお出かけ便利帳の発行を継続していく。

【今後の展望】

改定版発行に際しては、IT 活用により集めた情報を使用して、効率良く発行ができることを目指す。

- ・事業開始:平成 18 年 10 月
- ・従事者人員:山野上
- ・活動日時:平日、10:00~17:00
- ・活動場所:主に、横浜市
- ・関係機関等:福祉タクシー券換金事業者、移動支援事業者連絡会、移動情報センター他
- ・受益対象者:障害者、高齢者等移動困難者、高齢者、障害者等関連施設
- ・支出額: 0 円

(2) 要支援者の介護予防・日常生活支援総合事業、その他高齢者等に対するサービスに関する事業

① 福祉有償運送 さぼーと・横浜

【事業内容】

ひとりでは公共交通機関を利用することが困難な移動制約者に対し、移動の確保を行い、自身の社会参加や自立の向上を図る。

他人の介助に頼らずに移動することが困難であり、単独でタクシー等の公共交通機関を利用することが困難な身体障害者、要支援者、その他障害を有する方々に対して車による移動支援を実施する。

【活動実績】

事業縮小が浸透して、現在ご利用の依頼は月に1~2名程度、活動回数は10回以内がほとんど。新しいドライバー登録もあるが、他にも仕事を持っているなど、積極的に活動できるドライバーが少なく、お問い合わせいただいた依頼から、ドライバーさんが無理なく活動できる範囲のみ引き受けている。

【所感】

利用者様には事業の縮小を伝えてきたため、かなり周知されてきたように思う。アプリや他の事業所をおすすめはしているが、金銭的に介護タクシーは利用できないという方が多い。

【今後の展望】

アプリに福祉有償運送も介入できて、あまり重度でなく、ボランティアさんでも対応出来そうなら、選択肢として福祉有償運送が選べるような形が理想かと思う。

今のガジガジの法制度では難しい部分もあるが、一般タクシー会社のライドシェアが出来て、少しは柔軟に変わろうとしている今、福祉有償運送も動き出してほしい。

ライドシェアみたいに、登録した福祉有償運送を含む多くの事業者から利用者が選べるようなマッチングアプリ開発の今後に期待。

【こぼれ話】

私の知らないずっと前からご利用いただいていた重量感のある車いすの利用者様、あちこちご紹介してもさぼーと・横浜がいいと、最後の最後までご利用いただきました。横浜では一人暮らしだったけど、新潟にお兄さんがいるということでした。それが本当に突然、新潟の施設が空いたからと入所が決まり、数日のうちに新潟に引っ越されて行きました。あんなに長くご利用いただいたのに、ご挨拶も出来ず淋しいです。最後に長距離の搬送もお手伝いが出来たらよかったねと関わっていたドライバーさんとは話しています。突然決まったので急いで介護タクシーを頼ってしまったと聞きました。きっと生まれ育った地で今頃は楽しく過ごされていることと思います。

- ・事業開始:平成16年 10月
- ・従事者人員:事務局2名(天野、和田(昌)、ドライバー15名)
- ・活動日時:全日
- ・活動場所:横浜市内発着の運行
- ・関係機関等:障害福祉各関係機関
- ・受益対象者:市内全域の移動困難者
- ・支出額:1,209,282円



② 横浜市介護予防サービス補助事業サービスB「アペリティーヴォ」

【事業内容】

コミュニティサロン「アペリティーヴォ」(通称:サービスB)は、介護保険で要支援と認定された方を中心に高齢者を対象とした横浜市の補助事業。

当会では一般的な福祉デイサービスのイメージと違った魅力づくりに拘り、強みを活かして運営スタッフに障害当事者をホストやボランティアに加え、介護予防プログラムを実施し、共同オフィス利用団体やこれまでのネットワークから多彩なゲストに参加してもらっている。

【活動実績】

開催回数:142回 参加者総数:1,777名(スタッフ含む)※介護予防プログラム実施実績のみ
水・木曜日 13:00~16:00(15:30~16:00 ワンドリンク提供し交流タイム)
水・木曜以外 13:00~16:00 の間で参加者の都合により来所可

介護予防プログラムを水・木曜の週2回に増やして2年目となり、多岐に渡る内容を展開したことで、参加者の選択肢が拡がり、参加総数の増加に繋がった。毎月のカレンダー発行も定着でき、周知度を強化した。

開設当時から当会の特色を打ち出し、ゲストもアペリティーヴォらしさを発揮しながら臨機応変に展開。昨年度から連携の公益財団法人横浜市寿町健康福祉交流会様「自己啓発講座」は安定して展開し、新規で公益財団法人かながわ福祉サービス振興会様をゲストに迎えることができた。

また、関内シニアクラブ会員の方々に参加して下さる機会も増え、連携が深まった。

【所感】

当会らしさを活かし、他事業と連携した展開も含め試行錯誤でアペリティーヴォを運営してきた。関内シニアクラブさんの活躍と併せて、改めて気軽な居場所としての役割を認識した。

【今後の展望】

地域活動の場面に出向く等、更に周知に努めたい。
移転が予定されている中、厳しい状況ではあるが継続していきたいと考えている。

【こぼれ話】

①花草木とIKIINKIカンパニーとコラボで竹桶にオリジナル寄せ植え。

まさに老若男女!

普段のアペリと違った雰囲気でも和気藹々と交流できた。



②当会のネットワークにより新規で「福祉爪ケア普及協会」さんをゲストに迎えた。爪トラブルのお話や実際にケアをして下さり、恥ずかしがっていた方々もスッキリ笑顔になっていた。



③共同オフィスが他団体の活動で席が埋まってしまい、急遽IKIINKIカンパニーで珈琲タイム。

自然に相互の声かけがあり、製作品を手にとって話が盛り上がっていた。



- ・事業開始:令和2年4月
- ・従事者人員:6名(服部、山野上、江口、後藤、福田、鈴木)
- ・活動日時:毎週月~金曜日
- ・活動場所:よこはま市民共同オフィス
- ・関係機関等:横浜市健康福祉局地域包括ケア推進課、中区福祉保健センター高齢・障害支援課、中区社会福祉協会、横浜市不老町地域ケアプラザ他、中区内各地域ケアプラザ、よこはま市民共同オフィス入居団体等
- ・受益対象者:介護保険要支援者他興味のある方
- ・支出額:2,581,988円

③ ユニバーサル移動

ア. ユニバーサルツアー推進(含 お出かけ事業)

【事業内容】

当協議会が、企画から実施までの全体を行い、参加者は現地集合や車両での送迎を選択する。

【活動実績】

実施まで至らず。

【今後の展望】

比較的小規模のお出かけ事業と規模の大きい本事業をまとめて、ユニバーサルツアー推進として、進めていく。

お出かけ事業

【事業内容】

日頃、外出が困難な人たちの外出の機会を増やし、外出先での豊かな出会いや体験を提供する。一緒に行動する人たち同士の情報交換や情報共有も図る。また訪問先においては、障害者の日常的な様子に接することで障害者理解につながる。

【活動実績】

- | | | |
|-------------|-----------------------|---------------------|
| ① 10/28 | ポレポレまつり参画 | (於 本牧いずみ公園) |
| ② 11/3、4 | ホッチポッチミュージックフェスティバル参画 | (於 象の鼻パーク) |
| ③ 11/12 | 中区区民祭ハローヨコハマ見学 | (於 象の鼻パーク) |
| ④ 11/20 | ぬくもりビンゴラリー | (於 イセザキモール、馬車道商店街他) |
| ⑤ 2024.7/26 | 移動が楽しくなる体験イベント | (於 新都市プラザ) |
| ⑥ 2024.7/27 | 関内まつり 6名 | (於 馬車道通り) |
| ⑦ 2024.8/24 | 関内北仲盆踊り 8名 | (於 北仲チャンネルパーク) |

【所感】

参加者は日常から離れたイベントなどを楽しみ、支援者以外の人たちとも行動を共にすることで、有意義な時間と機会を楽しむことができた。また、色々なイベントの主催団体と関わることにより、各団体とのつながり構築に大いに貢献している。

【今後の展望】

お出かけ企画の周知、PR は課題である。今後、こうした情報を得にくいと思われる人たちに広く情報を届けていくために、福祉分野にとどまらず関係各所さらにキーマンとなる関係者との連携を強化する。今年度は多彩なプログラムを提供することができたが、さらに興味を持ってもらえるような工夫を加え、参加者の拡大を目指す。

- ・事業開始:平成20年1月
- ・従事者人員:5人(江口、和田(昌)、和田(あ)、田所、福田)
- ・活動日時:全体
- ・活動場所:横浜市内、市内イベント
- ・関係機関等:神奈川県共同募金会、NPO 法人アークシップ、横濱時ジェントルタウン倶楽部等
- ・受益対象者:高齢者、障害者など外出が困難な方、ボランティア
- ・支出額: 532,157 円

イ. 移動支援ファンドの構築と試行

【事業内容】

法制度では網羅できない移動支援のために、ファンド立ち上げを検討、広く一般から寄付を募り、移動支援サービスや制度が行き届かない方々に、旅行や余暇、趣味や就労のための移動支援の提供の仕組みを模索する。また、高齢者や障害者が主体となり、相互理解のユニバーサル研修等を開催する。

【活動実績】

実施実績なし(今後実施予定)

【今後の展望】

この支援ファンドの元となる、すでに実行中の「お出かけプレゼント」を含めた企画を進めていく

- ・事業開始: 令和4年10月
- ・従事者人員: 4人(江口、後藤、斉木、鈴木)
- ・活動日時: 全日
- ・活動場所: 主に横浜市
- ・関係機関等:
- ・受益対象者: 高齢者、障害者など移動困難な方
- ・支出額: 0円

ウ. 介護タクシー配車サービス

【事業内容】

介護タクシーを利用したい移動困難者と介護タクシー事業者をアプリ i-CareGO を使ってマッチングさせる。アプリ制作会社アイネットと協働により、個人向けのアプリを開発し、誰もがもっと自由に移動できる社会づくりに寄与する。

【活動実績】

令和5年6月より介護タクシーの配車依頼を電話で受け付けアプリに入力する、i-CareGO の電話サービスを開始 令和5年10月から令和6年9月までに31件をマッチング

令和5年10月 事業再構築補助金交付決定、アイネットへ個人向けアプリ開発依頼
病院・施設へのアプリ導入推進、令和6年6月までに5病院・3施設に導入

令和6年2月 個人モニター スタート(こどもハッシンに協力頂く)

5月 i-CareGO プロモーションビデオ(マリンタワーお出かけ動画)作成

6月 i-CareGO 個人向けチラシ完成

6月 i-CareGO 個人・家族向け完成 ダウンロードスタート

7月 各区社協・地域ケアプラザ・介護タクシー事業者へ個人向けチラシを送付

i-CareGO 個人・家族向け記者発表

新都市プラザ個人向けアプリリリースイベント開催

i-CareGO 個人・家族向け HP からの申し込み受付開始

8月 お出かけ動画第2弾完成

9月 高齢者施設へ個人向けチラシ送付



※参考

移動サービス協議会が開拓した病院・施設からの配車依頼による送迎実績の件数グラフ
令和5年10月26件から令和6年9月73件と推移



【所感】

介護タクシーの料金が高いために、利用に踏みきれないケースが散見されるため、行政に働きかけ補助やタクシー券の配布を増やす等、対策を考える必要があると考えている。

【今後の展望】

引き続き、病院・施設などへアプリ導入を推進しつつ、横浜市社協や関連団体に協力を要請して、i-CareGOの利用者拡大を図る。
利用者の声に耳を傾け、アイネットとの協働により、より使い易いアプリへの改善を図る。

- ・事業開始: 令和5年2月
- ・従事者人員: 4人(江口、和田、末木、山野上)
- ・活動日時: 平日 10:00~17:00
- ・活動場所: 事務所
- ・関係機関等: 株式会社アイネット
- ・受益対象者: 介護タクシー利用者、病院・施設スタッフ、介護タクシー事業者
- ・支出額: 2,251,481円

(3) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス、地域生活支援及び児童福祉法に基づく障害児通所支援、その他障害者等に対するサービスに関する事業

①サポート横浜(再掲)

②ガイドヘルパー(障害者移動支援)

【事業内容】

単独で外出が困難な障害者に対してガイドヘルパーが付き添うことで障害者の自立と社会参加を促進する。

ご家族の負担軽減と利用者児童生徒の成長や自律支援を行っている。

【活動実績】

実績回数 1,267回

参加人数 227人

【所感】

社会参加をし、様々な経験を楽しみながら成長を見守りたいと考えている。

【今後の展望】

ガイドヘルパーを増やし、当事者が社会参加出来るようによりよい支援活動へ繋げていく。

【こぼれ話】

一人だと出かけるのが不安でしたが、ヘルパーさんと出かけられて安心できた。

- ・事業開始:平成25年4月
- ・従事者人員:スタッフ山野上、奥本、後藤、古田中 ヘルパー20人
- ・活動日時:1日の範囲で終了する外出
- ・活動場所:日用品の買い物、理容室、余暇活動(映画、動物園、公園等)、通学先、通所先
- ・関係機関等:横浜市健康福祉局障害福祉課
- ・受益対象者:34人
- ・支出額:6,555,011円

③ ユニバーサル移動(再掲)

ア.ユニバーサルツアー推進(含 お出かけ事業)(再掲)

イ.移動支援ファンドの構築と試行(再掲)

ウ.介護タクシー配車サービス(再掲)

④ 就労継続支援B型事業(IKIIKIカンパニー)

【事業内容】

安定した通所を継続していくために、利用者の「できること」を見つけて、居心地の良い居場所となる事をめざす。

自主製品の製作に力を入れ、利用者が「ものづくり」を楽しみながら、達成感を得られるように支援を進める。

【活動実績】

電動ドリルを扱ったことのない利用者には、イラストの使用や、実例を示しての指導をし、本人の興味と相まって、他者からの評価もあり、技術の上達に繋がった。さらに、地域のバザーなどで、販売活動に参加し、自ら来客に説明をし、出来栄をほめてもらう事が励みになり、自信につながっている。

通所当初は『人が怖い』と言っていた利用者が、本人の負担に配慮しながら、物販やイベント参加を促した結果、『自分は接客が好きで、向いているかもしれない』ということに気づき、自分で接客関係の求人票を探して就職活動を進め、レストランへの就職につながった。現在も引き続き定着支援を進めている。

【今後の展望】

関内地区の様々なイベント参加を重視して、各団体との結びつきを深め、IKIIKIカンパニーの認知を高め利用者獲得の営業活動が続ける。

物販の場や様々なイベントにおいては、地元中区の各団体との結びつきを重視し、関内シニアクラブやNPO法人コミュニティデザイン・ラボ、社会福祉協議会、ことぶき協働スペースなどが関係する物販やイベントなどには優先して参加し、IKIIKIの利用者獲得にもつなげていく。また地元重視で利用者獲得のための営業活動が続ける。

- ・事業開始:令和4年1月1日
- ・従事者人員:8人(早川、星野、福田、古田中、鈴木、和田(あ)、佐藤、山野上)
- ・活動日時:平日週5日
- ・活動場所:よこはま市民共同オフィス
- ・関係機関等:障害福祉各関係機関
- ・受益対象者:横浜市障害者
- ・支出額:15,347,946円

⑤ 入院時コミュニケーション事業

【事業内容】

横浜市では、重度の障害がある方を対象に、入院時のコミュニケーションを支援する事業を実施している。この事業は、意思疎通に支援が必要な場合に、コミュニケーション支援員を入院先(精神科病院及び精神科病棟を除く)に派遣し、医療機関のスタッフとご本人との円滑なコミュニケーションをサポートする。

【活動実績】

コロナ禍において、病院への訪問が制限され、実施には至らなかった。

【今後の展望】

コミュニケーションの難しい方にとって、入院時の不安と不便さは、大きな負担になると考えている。日常の移動支援を行っている気心のしれた支援者が顔を出し、病院との意思伝達に役に立てるよう、支援者の育成と、利用者へのサービスの周知に取り組んでいきたい。

(4) 市民活動団体・個人の支援に関する事業

① 国土交通省認定講習

【事業内容】

高齢者や障害のために、公共交通機関を利用する事が困難な方の移動支援をより安全、安心、快適に行うことができるようにするためのドライバー養成を目的に福祉移動サービス研修会(国土交通省福祉有償運送運転者講習及びセダン等運転者講習修了証を発行する認定講習)を実施。

地域の支え合い活動者等、高齢ドライバーに気付きと振り返りのための機会を与える、支えあっぴ安全運転研修を実施。

【活動実績】

令和6年1月、6月 認定講習/支えあっぴ研修を2回開催

認定講習 43名

支えあっぴ研修 2名

戸塚自動車学校の老朽化が酷く、雨漏れ、冷暖房設備なし等、座学の会場としては使用の限界と思われ、代替え地とプログラムの見直しを検討したが間に合わず、11月の開催予定を中止とした。

【今後の展望】

開催場所の変更と、研修プログラムを見直して1日コースの講習を構築することを検討している。

【こぼれ話】

横浜市都市整備局都市交通課が地域支え合いドライバー支援講習として、国土交通大臣認定 福祉有償運送運転者講習・セダン等運転者講習(無料の講習)を開催しており、今後も継続されると当会の講習が無用になることが懸念される。

- ・事業開始:平成19年
- ・従事者人員:2人(和田、天野)
- ・活動日時:年2回開催
- ・活動場所:戸塚自動車学校
- ・関係機関等:横浜市中区社会福祉協議会
- ・受益対象者:地域活動ホーム、作業所、デイサービスなどの施設送迎運転者
- ・支出額: 1,151,171 円



② ガイドヘルパー・同行援護従業者養成研修

ア. ガイドヘルパー研修

【事業内容】

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく地域生活支援事業のうち、移動支援事業の適正な運営を確保するために支給決定を受けた障害者又は障害児に対して、適正な移動支援サービスを提供するガイドヘルパーの養成を目的とする。

【活動実績】

今年は計画通り、年に知的・全身性共に4回実施し、知的は87名が受講。全身性は52名が受講。合計139名が受講した。そのうち受講者の日程の都合により一回の研修で修了できない等の理由で、修了者数は137人。開催月の関係で前年度より回数が1回減っているため25名の減員となった。

定員は、知的30名、全身性20名としている。

	知的 受講者	全身性 受講者	計	同時 受講	実質受 講者数	知的 修了者	全身性 修了者	計修了 者数
R5年11月	21	9	30	7	23	20	8	28
R6年2月	22	17	39	11	28	22	18	40
4月	20	14	34	5	29	19	14	33
6~7月	24	12	36	6	30	24	12	36
計	87	52	139	29	110	85	52	137



【所感】

計画通り演習への当事者参加を強化し、沢山の当事者の方々にスタッフとして携わっていただいた。受講生には実施後のアンケートでも、「とても良かった」との声をいただいている。

受講生アンケートをwebで回答、集計しており、記名式に変更したので、次の研修のお知らせをしている。今年度は各講師へのフィードバックができなかったため、来年度は各講師へフィードバックし、研修内容の見直しをしながら研修の充実を図る。

【今後の展望】

既に働いている方々のスキルアップの研修の必要性も感じており、研修内容の充実を図りながら多くの受講生が研修を受けられるように、工夫していきたいと思う。また、他の団体で実施しているガイドヘルパー研修の受講料は値下げの傾向にあるため、当協議会としても、研修内容の見直しなど独自色を打ち出していく必要がある。

イ. 同行援護従業者養成研修

【事業内容】

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく地域生活支援事業のうち、移動支援事業の適正な運営を確保するために支給決定を受けた障害者又は障害児に対して、適正な移動支援サービスを提供するガイドヘルパーの養成を目的とする。

【活動実績】

計画通り、一般課程4回実施し83名が受講。

応用課程2回実施し25名が受講。

合計108名が受講した。

去年に比べ、開催月の関係で回数が1回多い上に、毎回定員を超える受講希望があり、今年度は42名の増員となった。

	一般受講者	応用受講者	計	同時受講	計修了者数
R5年11月	21		21		21
R6年3月	24	16	40	11	40
6月	20	9	29	7	29
9月	18		18		18
計	83	25	108	18	108

【所感】

以前に比べて、同行援護の受講希望者数が安定していると感じている。

9月の研修では、浜視協からのご紹介で、当事者の方に演習にご参加いただいた。頂戴した当事者ならではの気づきやアドバイスを、今後の研修内容の充実に繋ごうと思っている。



- ・事業開始:平成25年7月(知的障害者)、平成29年4月(全身性)
- ・従事者人員:5人(山野上、後藤、山口、正城、石井)
- ・活動日時:年間約4回(知的…3日、全身性3日/1回の研修)
- ・活動場所:横浜移動サービス協議会共有スペースⅡ/演習で外出あり
- ・関係機関等:
- ・受益対象者:資格を取得して、働きたい方
- ・支出額:4,508,141円



③ 横浜市障害者ガイドボランティア事業事務ガイドボランティア事業事務取扱

ア. 横浜市障害者ガイドボランティア

【事業内容】

支援対象者(移動支援を希望する障害者)に必要な付添(ガイド)をボランティアが行う際、横浜市が一定の要件を満たす活動に奨励金を支給し、当協議会が活動報告をとりまとめ、市に請求し、奨励金振込を代行する。

【活動実績】

登録者数	R5年度	R4年度	R3年度	R2年度
ガイドボランティア	299人	263人	246人	278人
支援対象者	175人	185人	170人	195人
月平均活動数	1215回	1244回	1238回	1318回

ガイドボランティア登録者数増については、協議会内各事業や他団体との連携により成果が出ている。

○ガイドヘルパー養成研修の受講者からの登録 → 13名

○NPO 団体(アークシップ、山下会)との連携で、団体員やイベント参加者からの登録 → 14名

○支援対象者とガイドボランティアとのセット登録を勧めているが、特に、小学校入学に備えて、ガイドが必要になる保護者のママ友関係の中で、相互に支援対象者とガイドボランティアを行うためのセット登録ができています。 → 4組

○同じマンション在住者の間で、支援対象者とガイドボランティアの登録がなされる場合がある。 → 3組



山下会イベントでのボランティア登録者募集

相談件数実績報告(件)

相談者 種別	障害種別				活動区分				合計	成立	
	視覚	肢体 不自由	知的	精神	通学	通所	一般	余暇		決定	未定
当会登録支援対象者	8	4	16	4	14	10	4	4	32	28	4
未登録支援対象者	2	3	8	2					15	8	7
移動情報センター		2	4	4	3	4	1	2	10	2	8
その他(計画相談・学校)		2	6	2	3	3	2	2	10	3	7
合計	10	11	34	12	20	17	7	8	67	41	26

【所感】

ガイドボランティアの活動件数は、前年度比 ほぼ横ばいの状況だが、ガイドを担うガイドボランティアは増えているので、今後マッチングを進めることにより、活動件数の増が見込まれる。

【今後の展望】

支援学校関係者(先生、保護者、PTA 役員)へのガイドボランティア事業紹介は、これから拡大していき、ガイドボランティアや支援対象者登録増につながる見込みあり。

イ. 横浜市障害者ガイドボランティア研修

【事業内容】

横浜市ガイドボランティア事業を広く周知してもらうことを目的としている。
ボランティア登録した後は、安全に活動してもらえるよう障害者理解やボランティア 活動体験などの研修を行う。

【活動実績】

R5.10/28 視覚障害体験

R6.7/26 車いす障害体験

開催日	場所	内容	参加人数
R5.10/6	東戸塚地域ケアプラザ	車いす障害の理解と接遇方法/体験	3
R5.10/28	セルテ共同オフィス	NPO アークシップへの車いす障害と視覚障害 接遇方法/体験	68 (19名登録)
R5.11/3.4	象の鼻パーク (ホッチポッチフェス)	車いす障害の理解と接遇方法/体験	(14名登録)
R6.3/27	セルテ共同オフィシアペリテーヴォ	車いす障害の理解と接遇方法/体験	4
R6.3/28	横浜市役所・協働ラボ	障害者の外出付添ガイドボランティア講座	5
R6.7/1~9/13	支援学校(10校)	通学時の集団見守り関係者連絡会	79
R6.7/26	新都市プラザ	車いす障害の理解と体験研修会	3

【所感】

NPOとの連携による研修会、イベントで成果が出ています。
NPO アークシップとの連携により研修会で68名もの参加があり、この中で、19名が登録となりました。同じく同NPO主催のフェスティバルにて、14名の登録者がありました。

支援学校の集団見守りガイドボランティアや学校の先生との連絡会は、見守り活動を通じて得た経験などの情報共有がいかに大切かを全員で再認識することができました。

- ・事業開始:平成20年1月
- ・従事者人員:4人(江口、斉木、石井、佐藤)
- ・活動日時:不定期
- ・活動場所:主に横浜市内
- ・関係機関等:横浜市障害自立支援課、社会福祉協議会、地域ケアプラザ、自治会など地域団体
- ・受益対象者:移動支援を必要とする障害者、移動支援のボランティア
- ・支出額:2,735,515円

④ 横浜市重度障害者福祉タクシー利用券換金業務代行

【事業内容】

横浜市重度障害者福祉タクシー利用券取扱事業者と当会が換金協定を締結し、横浜市に対して各事業者が利用者から受け取った福祉タクシー券の換金業務を代行する。

【活動実績】

換金実績:109,020,082円 換金月平均実績:9,085,007円
換金枚数: 218,995枚 換金月平均枚数: 18,250枚
前年増減率: 5%増
換金協定締結事業者総数:643件(内116件廃業確認済) 新規締結件数:43件

タクシー券年間実績				
月	枚数(枚)	換金額(円)	手数料(円)	総額(円)
10	21,105	10,511,081	316,575	10,827,656
11	25,421	12,667,810	381,315	13,049,125
12	22,813	11,373,389	342,195	11,715,584
1	18,056	8,995,417	270,840	9,266,257
2	17,056	8,498,416	255,840	8,754,256
3	26,364	13,132,029	395,460	13,527,489
4	12,206	6,069,010	183,090	6,252,100
5	14,740	7,334,636	221,100	7,555,736
6	14,324	7,124,623	214,860	7,339,483
7	12,736	6,336,417	191,040	6,527,457
8	11,884	5,901,971	178,260	6,080,231
9	22,290	11,075,283	334,350	11,409,633
合計	218,995	109,020,082	3,284,925	112,305,007
	枚数(枚)	換金額(円)	手数料(円)	総額(円)
前年度実績	207,553	103,358,373	3,113,295	106,471,668
今年度実績	218,995	109,020,082	3,284,925	112,305,007
前年度比	11,442	5,661,709	171,630	5,833,339

【所感】

(株)アイネット様と連携してスタートした「介護タクシー配車依頼サービスi-CareGo」の情報提供を目的として締結事業所に資料を一斉送付した。そこで宛先不明で戻った事業所に電話連絡したことで廃業を確認できた。締結後の連絡徹底が難しい中、事業所実体把握に繋がった。

【今後の展望】

増加している換金締結事業者が円滑かつ正確な書類提出ができる様、きめ細かな対応を心がける。引き続き「介護タクシー配車依頼サービスi-CareGo」との連携で締結事業所への情報提供を徹底し、登録事業者の増加に結び付ける。

また、タクシー券利用者状況の把握に努め、当会の果たすべき役割を確認しながら事業に反映させる。

【こぼれ話】

タクシー券は事業者の換金は年度末、利用者の有効期間は前年10月1日から当年9月30日となっており、例年混乱を招いている。

ある事業所が「利用者から受け取った」と10月からのタクシー券を乗車9月の実績として提出。裏面には利用上の注意は明記されているものの詳細を認識していないことが判明。

新規締結事業所には改めて詳細説明資料を同封し、円滑な利用のため情報提供の徹底に努めている。

- ・事業開始:平成 19 年 10 月
- ・従事者人員:3人(鈴木、石井、奥本)
- ・関係機関等:横浜市健康福祉局障害福祉部障害自立支援課、
横浜市在宅重度障害者福祉タクシー利用券取扱事業者(一般タクシー・福祉有償運送事業者・介護タクシー等)
- ・受益対象者:身体障害者手帳・愛の手帳所持者で条件を満たす方
- ・支出額: 1,715,511 円

⑤ 団体活動支援 ⑥ 団体連携

【事業内容】

団体運営、許認可等の相談対応、団体連携活動

【活動実績】

○介護タクシー許可申請の相談

福祉有償運送国交省認定講習の受講、ガイドヘルパー養成講座の受講を推奨し、介護タクシーグレイスクエアにて運転実習実施。

当会の参加するイベントにボランティア参加いただくなど、良い関係性が構築できている。

○令和 4 年度利用者向けデジタル活用支援推進事業(地域連携型)

後半継続実施

実施回数: 12回 /参加人数:のべ25人 /収入金額:1,050,000円

【所感】

総務省事業として、デジタル活用に不安のある方々のために、基本的なスマホの使い方から、様々なオンライン手続の利用方法まで、身近な場所で学べる「デジタル活用支援講習会」を全国各地で実施。

アパリティーヴォ所管の中区高齢支援課からつないでもらい、横浜市デジタル推進室との連携で実施。講師が丁寧にわかりやすく説明し、地域の方たちとの連携も生まれた。

【今後の展望】

引き続き、情報弱者の支援をつづけたい。次は、要綱をよく読み、万全な体制で望みたい。

(5) 高齢者及び障害を持つ人等が利用しやすい交通システム・まちづくりの学習検討提言に関する事業

① 学習会、交流サロン、シンポジウム等の開催

地域緑のまちづくり「関内桜通り」（花時計プロジェクトとして参画）

【事業内容】

地域緑のまちづくり「関内桜通り誰にでも手が届く緑化プロジェクト」推進団体“花・草・木”の事務局ユニバーサルな視点で、高齢者、障害者、子育て世代など誰でも楽しめる、“緑のさんぽみち”をつくる。車椅子利用の人もベビーカーの子どもたちも一緒に楽しめたり、香りや触感を楽しむなど、多角的な緑化の楽しみ方を模索する。

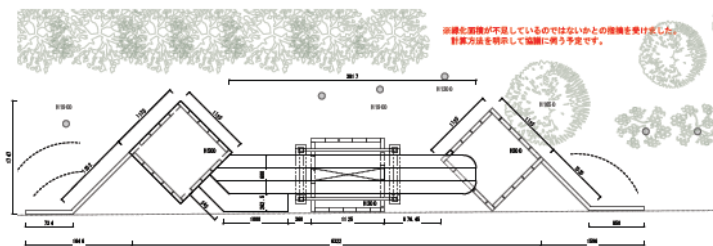
【活動実績】

○運河パーク ナビオス横浜敷地内の緑化計画に着手

○泰生ポーチ前のプランターだけだったが、秋山眼科等協力者を得て、プランター設置について、桜通に拠点を置く、オンデザイン等の協力を得て、計画が動き始めた。

【今後の展望】

2年目がほとんど活動できなかったが、多くの理解者の後押しを受け、2月までに大きな成果が上がると実感している。



- ・事業開始: 立ち上げ当初より
- ・従事者人員: 4人(江口、鈴木、後藤、山野上)
- ・活動日時: 平日、10:00~16:00
- ・活動場所: 事業所及び市内イベント
- ・関係機関等: 研修受講者、サービス利用者と担い手、関係団体
- ・受益対象者: 福祉活動従事者、福祉サービス利用者、団体運営者等
- ・支出額: 0円

② 要支援者を交えた防災・減災のための取り組み

【事業内容】

来横観光客や就労者等の要支援者救助のための緊急対応を検討。

【活動実績】

くどおかステーションと共同で、シニアクラブ定例会での合同研修会を計画し、中区総務課より自宅の地震対策について、転倒防止器具の取り付け代行などの情報提供を計画している。消防署、消防団との連携を深め避難体験などの実施につなげる。

【所感】

シニアクラブと連携し、情報収集や意見交換を行うなど、地域内での関係づくりができてきたと感じている。

【今後の展望】

横浜での被災がいつ起きても不思議ではなく、観光地であり、日中人口が、住民より就業者が多い中区での防災対策について、11月に予定している第一回合同研修会を契機に今後、避難訓練等につなげていきたい。

(6) 公共交通機関・医療機関・福祉機関・行政・社会福祉協議会、福祉活動団体などとの連携・協働に関する事業

① 横浜市等関係部局との連携

【事業内容】

関係部局で実施される委員会等に委員を選出し、情報収集と連携を深めている。

【活動実績】

横浜市福祉移動サービス運営協議会 委員 服部理事長
神奈川区社会福祉協議会 移動情報センター推進委員会 委員 山野上副理事長、斉木
保土ヶ谷区社会福祉協議会 移動情報センター推進委員会 委員 江口
福祉のまちづくり推進会議小委員会 委員 服部理事長
認定NPO法人市民セクターよこはま 副理事長 服部理事長 監事 山野上副理事長

【所感】

様々な連携関係が構築され、多様な立場の方たちが、当会の活動に共感し、支援をしてくれていることを実感している。

これまでに築いた関係をより深く、より広げ、今後の時代ニーズに応じた、新しい展開が必要と感じている。

【今後の展望】

移動に関わる制度・サービスは、当会創立時と状況が大きく変動している。新型コロナウイルスの5類への移行にともない、社会が動き始めている。

今後のニーズの把握、新しい移動支援の模索、DXを活用し、ネットワークの連携をさらに強化していきたいと考えている。

【こぼれ話】

関内セルテ3階の関内シニアクラブと連携、関内まちづくり振興会、ことぶき交流センター、中区福祉施設連絡会などとの連携が増し、中区での知名度・連携の拡充を実感している。

- ・事業開始:立ち上げ当初より
- ・従事者人員:服部、山野上、スタッフ一同
- ・活動日時:平日、10:00~16:00
- ・活動場所:横浜市関内地区
- ・関係機関等:行政、社会福祉協議会等
- ・受益対象者:横浜地域住民・活動団体個人等
- ・支出額: 0 円

(7) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

① よこはま市民共同オフィスの運営・管理

【事業内容】

横浜市市民活動共同オフィスの卒業団体が中心になって、共同事務所を設立し、入居団体による「町内会」によって運営。

【活動実績】

実施回数: 長屋会議6回 / 参加人数: 延べ48人 / 会計は、共同オフィスで独立会計となり、会計管理は、シニアSOHOさんが担っている。

【所感】

隔月の定例会「長屋会議」は、構成される長屋会議が決議機関となっている。現在、7 団体が入居。

令和 7 年 3 月(事務所)、6 月(IKIIKI)までの賃貸契約となっているが、12 月までの入居延期が可能となっており、転居先を模索中。

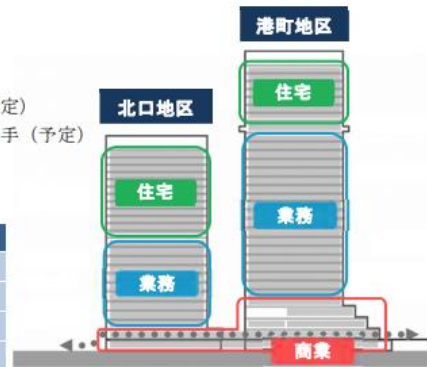
【今後の展望】

- 施行者：(仮称) 関内駅前港町地区市街地再開発組合
(仮称) 関内駅前北口地区市街地再開発組合
- 施行面積：約 2.2ha (港町地区：約 1.4ha、北口地区：約 0.8ha)
- 主な施設：業務施設、共同住宅、商業施設 等
- 公共施設：交通広場、駅前歩行者空間 等

(3) 今後のスケジュール (予定)

- 令和 6 (2024) 年度 市街地再開発組合設立認可 (予定)
- 令和 7 (2025) 年度 権利変換計画認可・解体工事着手 (予定)
- 令和 8 (2026) 年度 建築工事着手 (予定)
- 令和 11 (2029) 年度 工事完了 (予定)

	北口地区	港町地区
主要用途	業務施設、共同住宅、商業施設、駐車場等	
建築敷地面積	約 2,700 m ²	約 7,700 m ²
延べ面積	約 33,700 m ²	約 97,000 m ²
高さ	120m 以下	170m 以下
階数	地上 21 階/地下 1 階	地上 32 階/地下 2 階
住戸数(賃貸)	150 戸程度	90 戸程度



施設計画図

※ 現時点で、関内駅前港町地区市街地開発準備組合及び関内駅前北口地区市街地開発準備組合が想定するスケジュールであり、今後、計画の具体化及び関係機関との協議等により変更となる可能性があります。

お問い合わせ先

都市整備局都心再生課都心再生担当課長 島田 浩和 Tel 045-671-3972

- ・事業開始:平成20年より
- ・従事者人員:山野上
- ・活動日時:平日、10:00~17:00
- ・活動場所:法人事務所
- ・関係機関等:入居団体
- ・受益対象者:公益的な活動団体と個人
- ・支出額:0 円(共同オフィス独立会計)

寄付報告

【ご寄付くださった皆様】ありがとうございました

個人 計 79名様、法人 計 17 社/協会様 計 2,581,994 円

星野英俊(障害者支援フォーラム)、星野英俊、青木加奈子、越智祥太、千木良孝之、星野晴彦
 ケアタクシータナカ:田中 圭、特定非営利活動法人市民ハート、星崎清美、木村裕之、待場信之、
 横浜わかばタクシー:若槻 肇、株式会社横浜ハウネス 大堂藤夫、のこのこの会:増田利平、上脇政和、
 千丸台地区社会福祉協議会:南出俊男、福野哲也、福野稜、福野弾、関 景一、佐々木忠之、
 関 すみれ、関 敬紀、関 こと、藤巻 香、天野和子、天野恒彦、天野七海、天野恒雄、中浦俊一、
 野田由美子、野田高澄、菊地俊宏、野田悠太、上脇聡一、上脇英孝、松浦紀子、鴨川恵美子、
 山野上啓子、和田あゆみ、江口幹郎、株式会社アイネット、毎日新聞東京社会事業団、濱村育男、
 NPO 総ぐるみ福祉の会:理事長 保永博行、後藤英雄、後藤清次、矢部雅子、
 一般社団法人生命保険協会神奈川県協会、長谷川成喜、関内シニアクラブ、服部一弘、牧野洋子
 株式会社あしたのなえ代表取締役 瀧川昌樹、田邊宏幸、高山美穂、白石史哉、白石智哉、石山京美、
 清水勇紀、宮澤正道、株式会社大空移送サービス、木村浩子、愛敬恵子、後藤まゆみ、
 ケアタクシータナカ田中 圭、林 進興、合同会社相模福祉タクシーエスコーと、宮澤正道、藤塚奈津子
 サンタクルーズ合同会社、矢部雅子、山口美江、斉木 実、石井優美、末木亮史、和田昌弘、
 小泉廣男、鈴木リサ子、奥本眞理子
 チャレンジドコンサート/IKIKI カンパニー主催イベント時のご寄附

敬称略